

令和5年度 学校関係者評価結果

1. 学校関係者評価委員会の開催

日時：令和6年3月25日（月）14:00～15:00

2. 学校関係者評価委員

- 1) 教育に関する有識者：県内大学の特任教授
- 2) 高等学校関係者：入学生出身校の校長
- 3) 看護管理者：国立病院機構 看護部長
- 4) 卒業生：国立病院機構 看護師長 同窓会長
- 5) 卒業生：国立病院機構 副看護師長

3. 評価内容：令和5年度 学校運営目標に対する実施状況

4. 評価資料

- 1) 令和5年度 自己点検自己評価および学校相互評価受審結果
学校相互評価報告書と評価結果に基づく当校の取り組み
- 2) 学校運営目標に対する実施・評価
- 3) 学生によるカリキュラム評価
 - (1) 卒業時、2年次、1年次カリキュラム評価
 - (2) 学生による科目評価一覧
- 4) 卒業生保護者による満足度評価
5. 学校関係者評価委員による主な意見、課題（抜粋）
 - 1) 運営目標ごとの意見交換、課題

1. 教育の質の向上を図る

【地域社会の具体的な学習に関する質問】

- ・1年次から地域に出てフィールドワークを行い、地域開催の行事に参加しその地域を知る。2年時次では、地域で暮らす人々にインタビューを行い、病院、施設で生活するにあたって、データを取りまとめた発表をとおして理解を深めている。

【ITの活用での取り組み】

- ・大学は、学生と相互にやり取りができるソフトがある。学生にフィードバックもできる。教員が採点をするのがほとんどなくなった。
- ・本校も採点のソフトを活用しており、時間短縮になっている。また、オンデマンドでの受講が可能で、講師に課題を提出できるようになっている。3校合同の講義でも活用している。問題作成、解説を入力しておけば学生が閲覧できるが、システムの活用が十分でないため、今後活用方法を見直していく。

2. 学校経営基盤の安定を図る

【学生確保に関する対策について】

- ・大学においても最重要課題である。頻繁にオープンキャンパスの開催や、HPに楽しそうな

行事をアップしてアピールしてはどうか。その他、見学会を開催し、実習室などの見学や中学、高校への出張講義などを行っている。

- ・メディカルフェスタに参加し、学校のブースを設ける。
- ・学生の楽しいことをしたいという意見を反映して、教科外活動の内容や時間を検討することも必要である。
- ・ラッピングバスを実施した。約3割の受験生が確認していた。病院の宣伝にもなっている。
- ・母体病院の奨学金制度を再開する。

3. 学生が社会人としての自覚を高め、主体性及び協調性を養うよう支援する

【学会にシンポジストとして参加】

- ・第77回国立病院総合医学会で、学生がシンポジストとして参加し全国の学びの発表と機構の学生と意見交換を行い、刺激を受けていた。

4. 教員としての能力開発に努める

【教員の具体的な研究活動に関する質問】

- ・中国四国グループでは、領域に分かれて教員研究会を行っておりグループで研究を行っている。研究活動に十分な時間を割くことは難しいが、大学でも同様のことが起こっており、研究に打ち込めないことがあるとの意見があった。
- ・教員には研究助成金制度があり、計画的に活用できる状況であるが、研究活動の時間捻出に苦慮している。勤務時間内で研究に取り組む時間を捻出し、教員全員でカバーし合えるようにしていきたい。

5. 学習・生活環境の充実に努める

【メンタルヘルスプログラムのデータ活用、共同研究の可能性】

- ・データがどのように活用されているのか、年度初めに説明と情報共有をしっかりとしていきたい。

【卒業生保護者によるカリキュラム評価の自由記述で学生寮の建物の老朽化に関する意見】

- ・修理依頼があればその都度修理して対応している。
- ・次年度からは、定員減により入寮者が減少するため一人2部屋を使用可能とする予定。

【具体的な問題】

- ・洋式トイレが1つしかない。全てを洋式トイレにすることは難しいが、一部を集中的にきれいにすることはできる。
- ・大学も洋式トイレと和式トイレがあるが、1つだけでも洋式にすると違って来るかもしれない。

2) 令和5年度、看護学校に取り組んでほしい課題

- (1) 学生確保対策の実施
- (2) ITの活用方法の見直し